

立川ひろとしからの手紙

立川ひろとしのシセイ（結城市政・政治姿勢）報告 2021.1.24 発行 No.2-10 発行：立川ひろとし後援会

〒307-0001 結城市結城(公達)9858-25 TEL 0296-33-5657 FAX 0296-54-4642 <https://tachikawa-hirotoshi.com> h_tachikawa@tacho-net.com



本年こそ新型コロナウイルス終息となりますように

日頃より、皆様には立川ひろとしの活動にご理解、ご支援を頂きまして有難うございます。

さて、令和3年が明けまして、新しい年を迎えましたが、皆様におかれましては如何お過ごしでしょうか。

皆さんもご存じのように、昨年は新型コロナウイルスの発生により生活様式も一変し、人と人との交流が制限され、色々な行事も中止となり、皆さんとお会いする機会が大変少なく残念な1年となりました。

結城市におきましても 1/11 現在で新型コロナウイルス感染者が38例目まで増加し、昨年末からの急増を受けて、感染拡大都市町村として県から指定され、不要不急の外出自粛や、全ての飲食店の皆様に（テイクアウト・デリバリーを除いて）午後8時から午前5時までの営業自粛をお願いする状況となりました。

茨城県全体においても感染拡大を受けて、不要不急の外出自粛要請が出され、首都圏では昨年春に続いて2度目の緊急事態宣言が発令され、国をあげての感染拡大防止に努めています。

ワクチン開発の報道も出ておりますが、国内での接種には今しばらく時間がかかることも予想され、治療薬の開発もまだまだといった情勢でもあり、手洗い・うがい・マスク着用・不要不急の接触をさけるといった生活様式を通して感染拡大防止策を継続することが必要な様相です。

例年この時期は、様々な年始行事で皆さんとお会いし、いろいろお話を聞かせて頂けることを楽しみにしておりましたが、今年は年始行事の中止により、残念ながら叶いませんでした。広報活動についても、ポスティングや駅立ちでの配布の形で実施しておりましたが、不要不急の接触を避けることから自粛し、新聞折込での配布に切り替えておりますが、出来る限り早く、顔の見える活動が再開できるよう願うばかりです。

このような厳しい日常の中で、医療現場で奮闘されている医療従事者の皆さんに感謝申し上げ、また、安全なワクチンや治療薬が開発されることで、1日も早く普通の生活様式を取り戻し、さまざまな機会みなさんと一緒に歓談ができる、安心してお会いできる日が来ることを願いながら、年始のご挨拶と致します。

原稿確定～印刷～お届けに1週間程度の時間を要することから、新型コロナウイルスに関する掲載内容は、状況が変わっている場合がありますのでご容赦ください



ネットやSNSでも活動報告＆質問お受けします！

本年も、なかなか皆さんとお会いする機会を作ることが難しい中ではありますが皆さんから色々な情報を頂いたり、お困りごとを相談頂いたり、活動報告を出していきながら皆さんと一緒に、同じ目線で活動していきたいと考えております。色々な窓口をつくってお待ちしております。どうぞ宜しくお願い致します。

HomePage <https://tachikawa-hirotoshi.com/>



<https://www.facebook.com/Hirotoshi.Tachikawa>



https://twitter.com/Tachikawa_Hiro



ID : yk-tckw-official



https://www.instagram.com/hiro_tachikawa/
ID : hiro_tachikawa



h_tachikawa@tacho-net.com

TEL 0296-33-5657（自宅）

FAX 0296-54-4642（FAX専用回線）

・SNS/メールはすべて立川本人が直接管理しておりますので、他の者がお問い合わせ内容を見ることはありませんのでご安心ください。

・お問い合わせの際にはお名前・お住まいの地域も明記頂けましたら、より具体的に回答ができる場合がございますので、ご理解＆ご協力をお願い致します。



コラム：新庁舎での議会が始まりました

令和2年11月24日に開庁を迎え、供用開始となった結城市役所 新庁舎にて令和2年 結城市議会 第3回 臨時議会、結城市議会 第4回 定例会が開かれました。

新しい議場、ペーパーレス・資料配布の簡便化・各種連絡事項の効率化を目的としたタブレット議会の実施、電子採決システムの導入など、素晴らしい設備の中でスタートとなりました。また、新型コロナウイルスへの対応のために、議員、執行部席の各席の間や、演台、発言席へ飛沫防止のためのアクリル板設置や、引き続きのマスク着用、傍聴席を20席（通常40席）で運用するなどの対策に努めております。

しかしながら、これらはあくまでもツールの整備にすぎません。一番大切なのは、私たちがこの素晴らしいツールを使いこなして、市民の皆さんのために必要な議論をしっかりしていく事と認識しています。

全国の地方議会において、議会が市民の皆さんにとって必要な組織となり、二代表制の一翼を担う組織として執行部としっかり議論していくために、議会基本条例の策定、議会の権限強化、調査権の強化、より掘り下げた質疑ができる一問一答形式制度の導入、様々な案件に対し迅速に本会議を開いて対応できるようにするためために通年議会制導入など、制度改革に望んでいる事例を数多く耳にする一方で、残念ながら、ツールの整備（制度設置）で満足してしまったり、機能しないツールを作ってしまった事例などもあるようです。

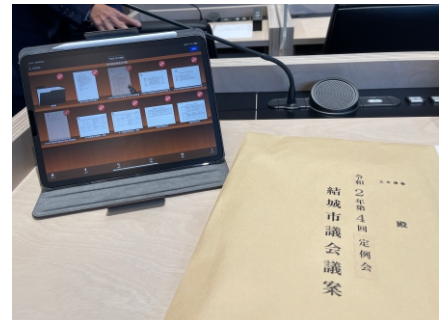
こういった事例からも学び、市民の皆さんに素晴らしい施設を与えて頂いたことに感謝しながら、市民の皆さんにとって役に立つ施設、役に立つ組織、役に立つ議員となることを肝に銘じて臨んでまいります。



令和2年11月24日
新庁舎 開庁式



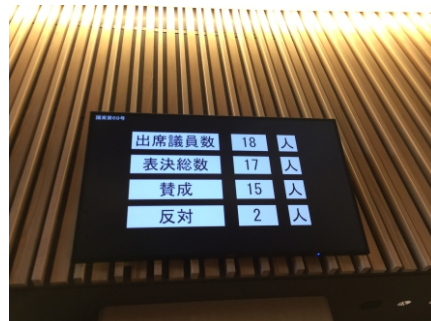
氏名票



タブレット(左)と議案書(右)



電子採決システム
(賛成・反対の押しボタン)



採決結果が表示される



飛沫防止のアクリル板



コラム：新型コロナウイルス対策から見た信頼の必要性

先日、とある報道番組で、台湾における新型コロナウイルス制圧の事例について聞く機会がありました。

台湾では30代の若き天才IT技術者が閣僚に任命され、様々なアイデアや技術をつかって情報提供をし、誤った情報を抑えながらマスクや生活必需品の不足に起因する混乱を抑えながら感染拡大を抑え込んだ「手法」について報道されておりました。

世界各国で、この「手法」について称賛されることが多く、私も当然のようにその「手法」に着目して見ておりましたが、実際のところ、一番大切であり、その根底にあるのは「政府と国民の信頼関係」とその閣僚は語っておりました。

日常から国民に向き合い、情報を公開し、丁寧に説明していくことで国民との信頼関係を構築してきたからこそ、こういった有事の際に国民が政府の情報を信頼し、政府方針に協力が得られたから、短期間で沈静化することができたとの話をしておりました。

実際、台湾にはこういった事象の際に、国民の行動を規制する法律があり、その法律は厳しい罰則を伴うことも番組では紹介されていましたが、国民との信頼関係の下でそういった法律を行使しなくても、感染拡大が抑えられておる様子を読み取ることができました。

文明や科学技術が発達した現代でさえ、克服することに時間と労力のかかる病気との対峙はこれからも続くと思いますし、世界中で紛争が絶えません。技術革新もさることながら、今回の台湾のケースのように「信頼」が国民・市民を守る大きな要素となる時代に入ってしまったのでは思うことがあります。

いくら「手法」が素晴らしくても「信頼」を伴わなければ、結果を導き出すことはできないでしょう。力は無くとも「信頼」ある議員として、皆さんに寄り添って活動する議員であり続けたいと再認識する番組でした。

■ 人事院勧告による手当削減を含んだ補正予算を可決

- ① 一般会計・6 特別会計・2 企業会計 総額 1 億 9,220 万円の補正予算を可決
- ② 人事院勧告による特別職や職員の手当削減や、職員新陳代謝（※）による増減を含む
- ※当初予算策定時は前年度の人事構成で人件費算出を行っており、その後、発表された人事構成に基づいて、年度が始まってから人件費補正を行う
- ③ 事業関係の内容は以下の通り

・ふるさと結城応援寄付金推進事業	5,528.4 万円
・奨学基金積立	3,380.7 万円
・障害者自立支援給付費	3,893.5 万円
・市道舗装補修事業費	1,000.0 万円
・南部中央公園野外ステージ屋根設置 基本設計委託	187.0 万円
・公園樹木管理委託	100.0 万円
・小学校空調設備整備工事	235.6 万円
・市民文化センター管理運営委託量	1,428.9 万円
・才光寺県民運動公園測量委託料	117.1 万円
・才光寺・久保田県民運動公園工作物撤去工事	204.9 万円
・鹿窪運動公園 放送設備改修工事	481.8 万円

■ ひとり親世帯臨時特別給付のための補正予算を可決

- ・新型コロナウイルス感染症の影響により、低所得のひとり親世帯に特に大きな困難が心身に生じていることを踏まえ、令和 2 年 8 月から臨時特別給付金の支給を実施しているが、年末年始に向け、これまでの給付金の基本給付の支給対象者に対し、再度、同様の基本給付（再支給分）支給を行うための予算
- ・一般会計 1,830 万円の補正予算を可決（全額 国庫より）
- ・令和 2 年 1 2 月 2 5 日に支給

■ 結城市民情報センター 無料スペースの有料化

- ・他施設との公平性の観点から、結城市民情報センター スペース A B C を有料化

	9:00 ～ 12:00	13:00 ～ 16:00	16:00 ～ 19:00	9:00 ～ 16:00	13:00 ～ 19:00	9:00 ～ 19:00
スペース A	200円	200円	200円	400円	400円	600円
スペース B	500円	500円	500円	1000円	1000円	1500円
スペース C	300円	300円	300円	600円	600円	900円

■ 結城市奨学金制度の改正について

- ・優秀な人材や若者の定住促進、少子化、人口減少問題の解消に寄与するための制度改正
- ・結城市奨学基金にて、下記の改正
- 貸与概要 … 1 0 0 万円貸与（2 5 万円×4 年／6 年制大学の場合は 1 5 0 万円）
償還期間 1 0 年以内 募集人員 5 名程度
 - 償還一部免除 … 卒業後 6 か月以内に結城市に居住開始し、5 年間 住民登録する
返還額の最大 5 0 % 免除
 - 償還全額免除 … 卒業後 6 か月以内に結城市に居住開始し、5 年間 住民登録し
市内企業や事業所に正規就職 自営や就農も含む
- ・結城市奥順奨学基金、乙女屋本店奨学基金でも貸与資格を一部改正
（保護者が市内在住であること、市税などの滞納が無いこと 等）

 丑年・おうし座の人から編集後記と反省

今回も無事にお届けすることができました。

新型コロナウイルスの影響で年始最初の連休の行事も全て中止・延期となってしまったことから、思いがけず頂いたゆっくりとした時間で書き上げることができました。

さて、話は変わりますが、今年は辛丑（かのと・うし）という丑年でも 6 0 年に 1 度の年だそうです。

「辛」は痛みを伴う幕引き
「丑」は殻を破ろうとする命の息吹、そして希望

とのことです。幕引きしながら新しいことが動き出すという、何かが終わり何かが始まるという、どのように解釈したらよいかわからない感じです。

社会経済・人の気持ち・多くの方が犠牲になるという人類にとって「痛み」のあった新型コロナウイルスが収束して「幕引き」を迎え、世界にとっても、日本にとっても、結城市の皆さんにとっても「殻を破って」世の中が復興に向かう「命の息吹」が芽生え「希望」の訪れる 1 年になってほしいと願っております。

そんな年に「丑年」で「牡牛座」で「牛のような体形の私」にも、何か意味深い、新しい展開が訪れ、皆さんの一助となれることを目標にしながら、大変な中ではありますが、本年も皆さんと一緒に頑張っていきます。どうぞよろしくお願いします。

■ G I G A スクール構想に関する契約に同意

- ・児童生徒向けの 1 人 1 台端末と、高速大容量の通信ネットワークを一体的に整備し、多様な子どもたちを誰一人取り残すことなく、公正に個別最適化された創造性を育む教育を、全国の学校現場で持続的に実現させる構想
- ・下記 2 契約に同意
- ① 1 人 1 台端末配布のための端末購入費及び設定費 2 億 7 9 9 万円
- ・小学校分 2,748 台 中学校分 1,439 台 合計 4,187 台
 - ・ソフトウェア一式
- ② 充電保管庫・液晶ディスプレイ・スタンド 3,205 万 5 千円
- ・充電保管庫 129 台
 - ・液晶ディスプレイ+スタンド 42 台



■ 結城市国民健康保険税の軽減措置 改正について

- ・個人所得課税の見直し（給与所得控除や公的年金等控除から基礎控除へ 1 0 万円の振替等）に伴い、一定の給与所得者等が 2 人以上いる世帯は、当該見直し後において国民健康保険税の軽減措置に該当しにくくなることから、現行と同水準とするため、次のとおり改正された（令和 3 年 1 月 1 日から施行）

7 割 軽減	改正前	基礎控除額（3 3 万円）
	改正後	基礎控除額（4 3 万円） $\pm$ 1 0 万円 $\times$ （給与所得者等の数－1）
5 割 軽減	改正前	基礎控除額（3 3 万円） + 2 8. 5 万円 $\times$ （被保険者数と特定同一世帯所属者数の合計）
	改正後	基礎控除額（4 3 万円） + 2 8. 5 万円 $\times$ （被保険者数と特定同一世帯所属者数の合計） $\pm$ 1 0 万円 $\times$ （給与所得者等の数－1）
2 割 軽減	改正前	基礎控除額（3 3 万円） + 5 2 万円 $\times$ （被保険者数と特定同一世帯所属者数の合計）
	改正後	基礎控除額（4 3 万円） + 5 2 万円 $\times$ （被保険者数と特定同一世帯所属者数の合計） $\pm$ 1 0 万円 $\times$ （給与所得者等の数－1）

※特定同一世帯所属者 … 後期高齢者医療制度に移行し国保被保険者の資格を喪失した方で、継続して同一の世帯に属する方

※6 5 歳以上の公的年金受給者の方は年金所得から 1 5 万円を控除した所得金額で判定

■ 市内 3 施設の指定管理者選定に同意

- ・下記 3 施設の指定管理者に結城市文化・スポーツ振興事業団に選定することに同意

結城市民情報センター・ゆうき図書館	令和 3 年 4 月 1 日 ～ 令和 8 年 3 月 3 1 日
結城市民文化センター	令和 3 年 4 月 1 日 ～ 令和 8 年 3 月 3 1 日
結城市鹿窪運動公園	令和 3 年 4 月 1 日 ～ 令和 6 年 3 月 3 1 日

■ 公共施設適正化調査特別委員会の報告書を議決

- ・厳しい財政状況や人口減少、少子高齢化時代に対応するため、結城市が所有する公共施設の将来を見据え、持続可能なまちづくりを推進し、公共施設の適正化等を調査研究するため令和元年 1 2 月に議員全員で設置された「公共施設適正化調査特別委員会」の報告書がまとめられ、議会へ報告、議決された



 何者かよくわからないと言われなくなるまで自己紹介

- ・昭和 4 8 年（1 9 7 3 年）5 月 3 日 結城市結城生まれ 4 7 歳 独身 嫁募集中
- ・城西小学校 ⇒ 結城中学校 ⇒ 下館第一高等学校 普通科
⇒ 日本大学工学部 電気工学科を卒業 民間企業でシステムエンジニアとして従事
- ・平成 1 5 年 結城市議会議員選挙にて当選 ⇒ 以来 3 期 1 2 年 市議として活動
- ・平成 2 7 年 8 月 結城市長選挙に立候補するも力及ばず敗戦
- ・敗戦後、政治的活動の引退を決意し全ての公職から退きシステムエンジニアに復帰するも、後援会や地元からの要請で平成 3 1 年 結城市議会議員選挙にて議員復帰
- ・市議会議員 現在 通算 4 期目
- ・結城市議会 産業建設委員会、議会運営委員会 に所属
- ・結城市消防団 第 5 分団 団員（平成 1 7 年 7 月～ 現在）
- ・結城市ペタンク協会 会長（令和元年 7 月～ 現在）
- ・所属会社からの理解を頂き、会社員を継続しながら市議会議員として活動中